令和７年盛岡市二十歳のつどい開催結果

◇　概要

令和７年１月12日（日）14時から、盛岡タカヤアリーナを会場に開催しました。当日は、対象者 2,114人、その御家族 311人が出席しています。

二十歳の方によって組織された盛岡市二十歳のつどい実行委員９名をはじめ、市内社会教育関係団体や多数のボランティアの皆様による協力を得て、運営されました。

◇　式典の様子

◇　記念式典（令和７年１月12日(日)14時～14時30分）

【司会：盛岡市二十歳のつどい実行委員　武田　羽那　藤村　美蘭】

1　開式のことば
　盛岡市二十歳のつどい実行委員長　藤原　弥生
2　国歌斉唱
　盛岡市民歌斉唱
3　二十歳を祝うことば
　盛岡市長　内舘　茂
4　励ましのことば
　盛岡市議会議長　遠藤　政幸
5　二十歳の決意
　二十歳代表　武田　実咲希　中村　佳乃
6　閉式のことば
　盛岡市教育委員会教育長　多田　英史

○　二十歳を祝う言葉

二十歳を祝して　　盛岡市長　内舘　茂

二十歳の節目を迎えられた皆さん、本日は誠におめでとうございます。

私も３８年前、皆さんと同じように、この盛岡で二十歳の「晴れの日」を迎えました。今は、一社会人として、そして盛岡市長として、市民の皆さんと共に、「より優しく、より強い盛岡」を実現するために、日々、市政に取り組んでおります。

本日ここにお集まりの皆さんは、それぞれ異なる道を歩まれています。職業につき社会で活躍している方、学業に励んでいる方、様々なかたちで社会とつながりを持つ皆さんの姿を拝見し、とても心強く感じます。

これから皆さんが向き合う未来は、これまで誰もが経験したことのない新しい時代であります。

人の心と心のつながりは　ときに弱くはかなく感じることもあるかもしれません。

しかしながら、そこに、愛や信ずる心があるとき、その結びつきは、この世の何より強くかけがえのないものとなります。私は、５０歳を過ぎた今も、生きることは素晴らしいことなんだと、心から信じ続けています。

ただ一度の人生、夢や未来に向けてこれからきっとたくさんのワクワクすることが待ち受けています。しかしながら、楽しいことだけではなく、時には、悲しみや苦しみ、ひとしれず涙を流すこともあるかもしれません。

だけれども、「涙が多ければ多いほど、悲しみが深ければ深いほど、その先の幸せはより大きくなるものだと私は信じています。

盛岡の先人であり、大正時代に平民宰相として活躍した原敬は、「宝積（ほうじゃく）」を座右の銘としていました。「宝積」とは、「人に尽くして見返りを求めないこと」。その生き方は、清廉潔白で、他者を思いやりながら尽力することの大切さを私たちに教えてくれます。皆さんも、この精神を胸に刻み、地域社会・国際社会で信頼され、活躍されることを願っています。

本日まで深い愛情で育ててこられました保護者の皆様。心よりお祝いを申し上げます。

ご多用の中、ご臨席いただきましたご来賓の皆様、開催に尽力をいただきました多くのボランティアの皆様。準備設営いただきました皆様。深く感謝申し上げます。

一人一人の力は小さくても、集まれば大きな力になっていくんだと、そう信じています。皆さんと共に、明るく元気な、盛岡そして日本を創っていきましょう。

本日は、誠におめでとうございます。

○　二十歳の決意

二十歳の決意　　二十歳代表　武田　実咲希　中村　佳乃

令和７年１月12日、私たちは二十歳のつどいの日を迎えました。はじめに、このような式典を開催していただけることに、心から感謝申し上げます。また、盛岡市長　内舘茂様をはじめ、御来賓の皆様からあたたかいお祝いと激励のお言葉をいただき、喜びとともに責任の重さを強く感じ、決意を新たにしております。二十歳を迎えた者の代表といたしまして、深くお礼申し上げます。

二十歳という節目を迎え、これまでを振り返りますと、支えてくださったたくさんの方々の顔が思い浮かびます。私たちの成長を一番そばで見守り、たくさんの愛情を注いで育ててくれた家族、時に優しく、時に厳しく御指導いただいた恩師の方々、喧嘩をしたり、励まし合ったりしながら過ごしてきた友人。どの場面を切り取っても、欠かすことのできない大切な思い出で、一生の財産であると感じております。

二十歳のつどいを迎えた本日、改めて「二十歳」について考えてみましょう。成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたことで、私たちは既に大人として社会に帰属しています。自分で決定権を持つ反面、そこには責任も伴い、社会の一員としての行動が求められるようになりました。そのため、主体性を持って行動していくことがより一層大切であると考えます。自分で決めた一歩を踏み出すことに不安も感じますが、これまで培ってきた知識や経験を糧に自信を持って歩んで参ります。

私たちの中には、すでに就職して社会に貢献している人、社会に出るために勉学に励んでいる人など、様々な環境で生活している人がいます。これから夢や目標に向け、さらに経験を積んでいく私たちですが、その道中は成功だけではなく失敗や挫折、辛い場面も多くあることでしょう。しかし、私たちは決してひとりではありません。顔を上げれば多くの方々に見守られています。石割桜のように盛岡に根を張り育ってきた私たちは今、開花を待つ桜のつぼみに例えることができます。これから、私たち一人一人が社会に出て、それぞれのステージで咲き誇り、華やかに舞うことができるよう努力を続けて参ります。

最後になりますが、無事に本日を迎えることができたのは家族や恩師、友人をはじめとした多くの方々の支え、そしてこの故郷・盛岡のおかげです。自然豊かな大地、温かい人々に囲まれたこの盛岡で育ったという誇りを胸に、希望に満ち溢れた未来を創っていけるよう、より一層精進していくことを誓い、二十歳の決意といたします。

◇　アトラクション（14時30分～15時）

二十歳のつどい実行委員会により企画したプログラム

実行委員によって進行しました。社会参加活動の報告のほか、二十歳の方々に「夢」や「盛岡の好きなところ」を聞いたインタビューや中学校時代の恩師からのメッセージをVTRに編集して上映しました。また、会場全体で、盛岡に関する問題を中心としたクイズ大会を行いました。最後は、二十歳の方々から集めた20年間を振り返る写真を楽曲と併せて編集し、エンドロールとして流しました。

◇　記念誌

テーマ『舞盛』のもと、実行委員会が企画及び制作した記事を含む記念誌を二十歳のつどい参加者全員に配布しました。

【掲載内容】

・実行委員長挨拶・二十歳を祝う言葉・二十歳の決意

・社会参加活動の報告

・実行委員がオススメする“盛岡の○○”を紹介！！

古着屋、カフェ、ラーメン、居酒屋

・各中学校からのメッセージ

◇　盛岡市二十歳のつどい実行委員会

令和７年盛岡市二十歳のつどい実行委員会は、二十歳の９人（社会人１人、学生８人）で活動しました。

令和７年盛岡市二十歳のつどい実行委員会のメンバー

実行委員会が行った主な活動内容は、次のとおりです。

○　**テーマの決定「舞盛」**

これまでの20年の歩みとこれから社会に出て羽ばたいていく未来を、石割桜が大岩を割って咲き誇る姿に重ねて、テーマを決定しました。二十歳の節目を迎えた今、経験や人とのつながりなどを糧にして、困難に立ち向かい、努力を続けた先に、花を咲かせて「舞う」ことができるよう、邁進していくという決意を込めています。

○　**実行委員会議・広報活動**

実行委員会議として集まり、二十歳のつどい当日の司会や代表挨拶の練習の他、アトラクション内容の企画、来場者全員に配布する記念誌の作成等について話し合いや作業を重ね、当日までの準備を進めてきました。

また、二十歳のつどい当日のお知らせや実行委員会の活動内容の周知を目的に、ラジオ出演や市広報、SNSなどで広報活動を行いました。

○　**社会参加活動**

「おちゃのまこども食堂」「津志田老人福祉センター」を訪問し、運営するスタッフや利用者さんと同じ体験をし、代表の方や利用者の方への取材を行いました。社会人として働く姿勢や求められること、盛岡の魅力などについて理解を深めることができました。

◇　YouTubeでのオンデマンド配信

式典およびアトラクションの様子は市公式YouTubeにアップしています。